**「いわての師匠」派遣事業　派遣依頼書**

年　　月　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学校名** |  | **担当者（職名）** |  |
| **電話番号** |  | **メールアドレス** |  |
| **希望日時**（※1） | 第１希望 | 　　　月　　　日（　）　　　時　　分　～　　時　　分 |
| 第２希望 | 　　　月　　　日（　）　　　時　　分　～　　時　　分 |
| 第３希望 | 　　　月　　　日（　）　　　時　　分　～　　時　　分 |
| （特記事項） |
| **実施会場** |  | **復興教育指定校** | □なし | ※指定校の場合「学校防災アドバイザー」制度をご活用ください。 |
| **希望機関** | 第１希望 |  |
| 第２希望 |  |
| **希望内容**（※2） | ※貴校における復興教育の概要が分かる資料を添付し、計画における位置づけやねらいも明記してください。 |
| 「いわての復興教育プログラム」教育的価値具体　　項目№〔　〕〔　〕〔　〕 |
| **事前学習の計画** |  | **事後学習の計画** |  |
| **使用可能な設備** | □ プロジェクタ／スクリーン　□ HDMIケーブル　□ 貸出用PC　□カラープリント（参加者分） |
| **教材の準備状況**※演習等、学習教材を用いる一部授業を希望する場合 | ※該当する場合のみ、いずれか当てはまる選択肢にチェックを付けてください。□ 準備できている　〔教材名：　　　　　　　　　　　組数：　　　　〕□ 準備できておらず貸出を希望する⇒貸出不可の場合： □ 購入（教材費の負担）を了承する ・ □ 今回の依頼を辞退する |
| **参加予定者** | 児童生徒 | 保護者 | 教職員 | 地域・その他 | 合計 |
| 学年　　名 | 名 | 名 | 名 | 名 |

※1　派遣希望日時は、可能な限り複数の日時をご記入のうえ、希望日の２か月前を目安に提出してください。

　　 複数回の派遣を希望する場合には、その旨と希望日時等を特記事項に記入してください。

※2　〔 〕には、裏面の「いわての復興教育プログラム」を参照し、今回の授業に該当する項目番号を記入してください。

※3　講師との日程調整がつかない場合、派遣できかねることもありますので、予めご了承ください。

**【提出先】**復興教育作業部会事務局（E-mail：renkei@iwate-u.ac.jp、FAX：019-621-6995）

または　岩手県教育委員会事務局（FAX：019-629-6144）

**いわての復興教育プログラムにおける教育的価値具体の21項目**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **いきる** | 1 | **かけがえのない生命**　すべての生命は、かけがえのないものであることを実感し、大切にする。 |
| 2 | **自然との共生**　自然の恵みや美しさに感動する心と畏敬の念を持ち、自然とともに生きることについて考える。 |
| 3 | **価値ある自分**　どのような状況においても、自分の存在を認め、必要とされる存在であることを認識する。 |
| 4 | **夢や希望の大切さとやり抜く強さ**　夢や希望をもつことは、生きる価値を見出すことであり、どんな状況においてもたくましく生きていくという強い意志と態度を養う。 |
|  5 | **自分の成長**　自分の成長や生活が多くの人の支えで成り立っていることに気づき、感謝の気持ちをもつことができるようにする。 |
|  6 | **心の健康**　つらいことや悲しいこと、環境からくるストレスなどを感じた時の対処方法を学び、自分自身で心の健康を維持する。 |
|  7 | **身体の健康**　周囲の環境を理解し、状況に合わせながら安全に気を付けて遊んだり、運動したりする。 |
| **かかわる** |  8 | **家族のきずな**　安心して生きていくための生活基盤として、家族の絆を大切にする。家族の一員として、自分の役割を果たす。 |
|  9 | **仲間とのつながり**　互いに支え合う仲間をつくり、友情を大切にする態度を養う。 |
| 10 | **地域とのつながり**　幼児や高齢者の人々・障がいのある人々等が一緒に生活している地域社会の人の思いを知り、地域への愛着をもつことができるようにする。 |
| 11 | **ボランティア・救援活動**　他の人や地域社会に役立つことを自分から進んで実践し、他人の喜びを自分の喜びとして共感する。 |
| 12 | **自分と地域社会**　郷土の美しい自然、伝統行事・郷土芸能、温かい人のつながりのある社会、安全なまちを願い、地域づくりにかかわる。 |
| 13 | **復旧・復興のあゆみ**　震災津波等の自然災害で被害を受けた交通網や産業、住宅やまちの復旧・復興の状況を調べ、安全で生き生きしたまちづくりにかかわる。 |
| 14 | **災害に備える地域づくり**　次の災害に向けたまちづくり、地域づくりにかかわる。 |
| **そなえる** | 15 | **自然災害の様子と被害の状況**　震災津波等、自然災害の様子と被害の状況について理解する。 |
| 16 | **自然災発生のメカニズム**　震災津波等、自然災害が発生するメカニズムやそれぞれの災害について理解する。 |
| 17 | **自然災害の歴史**　過去に起きた自然災害や自然災害と共存してきた人々の努力や工夫などについて調べ、防災・減災について理解するとともに、次の世代へ語り継いでいく。 |
| 18 | **災害のライフライン・地域経済への影響**　震災津波等、自然災害の被害による教訓をもとに、水・電気・ガス・灯油・ガソリン・道路などの供給・輸送システムやその大切さを理解し、ライフラインが止まった時に対応できるようにする。 |
| 19 | **災害時における情報の収集・活用・伝達**　震災津波等、自然災害の被害による教訓をもとに、情報の大切さ、情報の収集、選択・判断、発信の方法などについて理解し、活用できるようにする。 |
| 20 | **学校・家庭・地域での日頃の備え**　避難場所や避難方法、避難経路を把握して、安全に避難する。家具の安全対策、避難の方法や落ち合う場所、非常時持ち出し品、放射線についての正しい理解など、学校や家庭でできる防災対策を行う。地域の防災システムを理解し、防災活動に参加する。 |
| 21 | **身を守り、生き抜くための技能**　危機を予測（回避）し、災害や事故に直面した際に自他の体を守り、被害を最小限に止め、非常時に生き抜く技能を身に付ける。 |

いわての復興教育プログラム第３版／岩手県教育委員会より抜粋